

2021年1月28日

「第30回 佐賀銀行文化財団新人賞」の決定について

一般財団法人佐賀銀行文化財団（理事長 陣内 芳博）は、「第30回 佐賀銀行文化財団新人賞」を下記の2名の方に贈呈することに決定いたしました。

受賞者、内容等は下記のとおりです。

記

1. 受賞者 : 井川 健 様 40歳 漆工芸
 中尾 純 様 43歳 陶芸家

（五十音順）

2. 内 容 : 正 賞 表彰盾
 副 賞 賞金100万円

3. 贈呈式 : 日 時 2021年2月5日（金） 午後1時15分
 場 所 佐賀銀行 本店6階会議室

以 上

— 本件に関するお問合せ先 —

一般財団法人 佐賀銀行文化財団
事務局（多良・原田）
TEL 0952(25)1620

井川 健 様

年齢：40 歳 出身：兵庫県 現在：佐賀市在住
ジャンル：漆工芸

1. 経歴

1980 年	兵庫県生まれ
2005 年	京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻(漆工)修了
2009 年	京都市立芸術大学大学院美術研究科美術専攻博士(後期)課程修了
2009 年	佐賀大学文化教育学部美術・工芸講座講師
2012 年	佐賀大学文化教育学部美術・工芸講座准教授
2016 年	佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授

2. 主な受賞歴

2008 年	第 26 回朝日現代クラフト展『優秀賞』
2009 年	国際漆展・石川 2009『大賞』
2009 年	平成 20 年度『京都市芸術新人賞』
2011 年	第 7 回清州国際工芸ビエンナーレ『銀賞』(韓国)
2012 年	第 52 回日本クラフト展『経済産業大臣賞・日本クラフト大賞』
2014 年	第 41 回佐賀県芸術文化賞
2016 年	第 55 回日本クラフト展 二席『優秀賞』
2017 年	第 3 回金沢・世界工芸トリエンナーレ 2017 金沢・世界工芸コンペティション『大賞』
2017 年	第 35 回京都府文化賞奨励賞

【パブリックコレクション】

石川県デザインセンター

Minneapolis Institute of Arts

コミッションワーク

リッツカールトン京都

3. 推薦理由

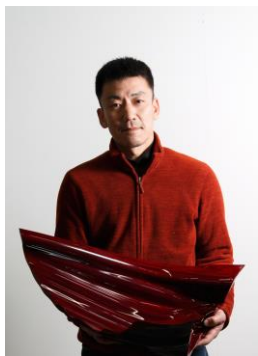
漆工芸作家の井川健さんは、漆の造形表現を追求する中で、近年は「やしの葉」を造形材として用い制作されています。自然の形を活かし成形しながら、その過程で生まれる偶然性をも捉えたシャープで独特なフォルムと、艶やかな鏡面が、壮大な世界観を創りだします。柔軟な発想で伝統の技法に、新たな息吹をもたらしており、これまでに国際的な公募展で大賞に輝くなど気鋭のアーティストとして脚光を浴びています。

自らの創作活動に打ち込むかわら、佐賀大学では次世代の指導育成にも尽力されています。教え子たちが佐賀美術協会展で好成績を残すなど、実績にもつながっています。

井川さんは兵庫県出身で、その技法は京都で培われたものですが、将来的に佐賀に新たな文化が根付くことも願っています。

今後さらなる活躍が期待され、佐賀銀行文化財団新人賞に十分値するところです。

井川 健 様



＜時の航行＞漆・硬質発砲ウレタン・布等
第8回国際漆展・石川 2009 大賞
(幅 110cm×奥行 29cm×高さ 120cm)



＜落陽＞大皿/木(妊)・蘇芳染め拭き漆
2012 年 第52回日本クラフト展
経済産業大臣賞・日本クラフト大賞
(幅 132cm×奥行 42cm×高さ 55cm)



＜波の華＞漆・硬質発砲ウレタン・木・布等
第1回 Loewe Foundation CRAFT PRIZE, The 2017 Nominees
(幅 170cm×奥行 49cm×高さ 32cm)



＜羽化＞漆・ワシントンヤシの葉柄・硬質発砲ウレタン・布等
2017 年 第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ
2017 金沢・世界工芸コンペティション大賞
(幅 150cm×奥行 75cm×高さ 85.5cm)



＜風孕む I＞漆、ワシントンヤシの葉柄他
2019 年 個展「艶のある形」高島屋美術画廊 X
(幅 95cm×奥行 24cm×高さ 130cm)

中尾 純 様

年齢：43 歳 出身：佐賀県 現在：有田町在住

ジャンル：陶芸家

1. 経歴

1977 年 有田町に生まれる（中尾恭純（中仙窯）長男）
 1999 年 佐賀県立有田工業高等学校窯業科卒業
 1999 年～2006 年 井上萬二に師事 ろくろ技術を学ぶ
 現在 日本工芸会正会員 佐賀県陶芸協会会員 有田陶芸協会会員
 中仙窯

2. 主な受賞歴

2007 年 九州山口陶磁展産業陶磁器部門 佐賀県商工会議所連合会賞
 2008 年 佐賀県美術展覧会 入選、'14 年佐賀県芸術文化協会賞、'15 年佐賀県議会議長賞・
 城秀男賞、'16 年佐賀県議会議長賞
 2009 年 西部伝統工芸展入選以後 2 回（'10 年、'14 年）、奨励賞 2 回（'11 年 '12 年）、
 '13 年沖縄タイムス社賞受賞、'15 年朝日新聞社大賞
 第 56 回日本伝統工芸展入選以後 10 回（～ '15 年、'17 年～'19 年）
 '20 年日本工芸会新人賞
 2010 年 西日本陶芸美術展入選、以後 1 回（'12 年）、'15 年用の美部門 西日本リビング新聞
 社賞
 2011 年 一水会展佳作賞
 2012 年 日本工芸会西部支部賞（課題作品）
 日本工芸会正会員の認定を受ける
 2013 年 日本陶芸美術協会展入選
 2015 年 九州山口陶磁展第二部産業陶磁部門 佐賀新聞社賞
 2016 年 有田国際陶磁展（旧九州山口陶磁展）美術品・オブジェ部門 佐賀県知事賞

3. 推薦理由

陶芸家中尾純さんは、美しい白磁の造形を追求する伝統系の若手作家の一人です。ろくろの技を追求して、白磁の素材の美しさを活かした、新しい形状の創造を模索されていました。

公募展での受賞歴も多く、実力は従前から知られていましたが、これまでは全国的な陶芸展での入賞実績がありませんでした。今回、真摯な作陶表現が認められ、2020 年、「第 67 回日本伝統工芸展」での「日本工芸会新人賞」を受賞されました。

ろくろの技で新しい形象表現を模索する作陶姿勢は、安易な加飾技法にはしらずストイックであり、小品から作品まで幅広く白磁の材質の美しさを活かした作品づくりをされています。

有田焼の新しい可能性を期待させる陶芸家として、佐賀銀行文化財団新人賞に十分値するところだと思います。

中尾 純 様



＜青白磁鉢＞

2015 年 第 50 回西部伝統工芸展

1 席 朝日新聞社大賞 (径 52cm×高さ 11cm)



＜白磁釉象嵌花器＞

2016 年 第 51 回西部伝統工芸展

入選 (径 32cm×高さ 36.5cm)



＜青白磁面取線彫花器＞

2017 年制作(径 46cm×高さ 22.5cm)



＜白磁面取線彫壺＞

2018 年制作(径 22cm×高さ 21.1cm)



＜釉象嵌花器＞

2020 年 第 67 回日本伝統工芸展

新人賞 (径 46cm×高さ 21.5cm)